

頭痛、めまい、手足の震え、しやべりにくい、歩きにくい…。
そんな時は、早めに「脳神経内科」で適切な診断を。

「たとえば、頭痛やめまい、手足の震え、しやべりや痛み、歩きにくい、しやべりにくい、ものが二重に見えるといった症状がある場合は、脳や脊髄、末梢神経や筋肉の異常が疑われますので、早めに脳神経内科を受診してください」と話すのは、脳神経内科医師の永井太士部長。以前は神経内科と呼ばれていた脳神経内科は、精神科や心療内科と混同されやすいが、実際は脳血管障害(脳梗塞、脳出血)やパーキンソン病などの神経変性疾患、アルツハイマー型認知症などの認知症性疾患など、急性期から慢性進行性といった、さまざまな疾患の診断と治療を行なっている。

「たとえば、頭痛やめまい、手足の震え、しやべりや痛み、歩きにくい、しやべりにくい、ものが二重に見えるといった症状がある場合は、脳や脊髄、末梢神経や筋肉の異常が疑われますので、早めに脳神経内科を受診してください」と話すのは、脳神経内科医師の永井太士部長。以前は神経内科と呼ばれていた脳神経内科は、精神科や心療内科と混同されやすいが、実際は脳血管障害(脳梗塞、脳出血)やパーキンソン病などの神経変性疾患、アルツハイマー型認知症などの認知症性疾患など、急性期から慢性進行性といった、さまざまな疾患の診断と治療を行なっている。

「誤解のないように言えば、『敷居の低さ』でしょうか。当院はいわゆる中規模病院です。その分、各科の連携がスムーズでどんな状況に対しても臨機応変に対処できるのが強みです。中規模だからこそ融通が利き、スピード感を持って対応できます」。

「あえて言うなら、当科は脳神経外科と整形外科の間を取り持つ『潤滑剤』のような存在です。脳や末梢神経に関する疾患はいわゆる難病と呼ばれるものも多く、慢性的に進行し、根本的治療が困難なケースも少なくありません。そうした場合を踏まえ、当院では患者さんやご家族が地域でよりよい療養生活を送れるよう、病気の注意点やケアの方法など、院内はもちろん地域の先生方を含めた多職種、多施設と連携して診療にあたっています」。

最後に脳神経内科の医師としての心持ちを尋ねると、「いつから、どんなふうな症状が始まったのか。患者さんの話をしっかりと聞き、実際に触診して、いろいろな可能性を考えたうえで鑑別していくのが脳神経内科医師の役割。AIにはまだまだ負けません」と笑う永井部長。専門的な医師としての知識、技術、誇りを胸に日々患者・家族本意の診療に取り組んでいる。



脳神経内科 部長
永井太士

お問合せ 岡山旭東病院
086・276・3231

NEWS

患者さん向け病院スマホアプリ「旭東San」を更新しました!

診察待ち状況など、岡山旭東病院の受診に関することをまとめて確認できるアプリです。
2023年4月より、「入院される方へ」の案内を追加しました。
これにより、入院する際に必要なものや注意事項、手術や麻酔に関する案内などをまとめて確認することができます。ぜひご利用ください。



▲ダウンロードはこちらから

動画配信のご案内

当院のYouTubeチャンネルにて、転倒予防を中心に健康情報を配信しています。運動方法や自宅の環境整備についてなど、愉しく学べる動画を毎月更新しています。ぜひチャンネル登録してみてください。



岡山旭東病院
YouTube チャンネル▶

No.125

おとな、暮らし、ときどきプレミアム

20th
オセラ
ANNIVERSARY
since 2003

2023

9-10月号

850円

(本体773円)

オセラ

岡山芸術創造劇場ハレノワが誕生！
今、表町が面白い。

まち・みち案内

香川県さぬき市津田地区

健康レシピ

大人のためのご馳走

とっておきを探そう。

Doctor's Eye

ととのう。

—そして癒やされる。

禅／写経・写仏／ヨガ／薬膳・豆腐料理
トレッキング／温泉／サウナ

